



井上みきお レポート

発行 / 井上みきお後援会事務所
志摩市志摩町越賀1125-276
TEL/FAX 0599-85-0516
携帯電話 090-3564-9646
メール mie.m.inoue@ezweb.ne.jp

令和3年第1回**定例会3月議会**が開催されました。(会期**2月25日～3月17日**)
提出議案(・人権擁護委員について諮問4件・条例の制定4件・条例の一部改正18件・補正予算9件・当初予算8件・総合計画基本構想の変更、他3件・議員発議3件)は、各常任委員会で審査し、本会議において審議しました。発議「**核兵器禁止条約への署名・批准を求める意見書**」の提出は否決され、他の議案については、すべて採択され可決し成立しました。
一般質問は**3月15日、17日に、17名の議員**が質問を行いました。
今回の定例会一般質問は、コロナ禍における対策として、会期の最後に行い、1議員の質問時間は、**30分を限度**として2日間で実施しました。

一般質問は YouTube で配信しています。ぜひご覧ください。



★ **井上みきお** は、下記の内容で一般質問を行いました。

次号の「**議会だより**」に掲載されますので、ご覧いただきますようお願い申し上げます。

志摩市の現状は？新型コロナウイルス感染症の対応と対策

- (1)陽性確認者の現在の療養状況は。
- (2)PCR検査受診や療養に至る一連の流れの再確認。
- (3)PCR検査を拡大する考えはないのか。
- (4)どう考える？偏見や差別、誹謗中傷の対応は。
- (5)ワクチン接種の現状と今後の予定・計画は。



ワクチン接種をする菅首相

- ・ワクチン接種の現在の進捗状況と今後の予定は。
- ・一度は拒否をしたが気が変わった場合、改めて接種を希望することは可能か。
- ・不要な不安は払拭し、十分理解の上で接種を希望してもらうための施策の計画は。
- ・接種会場へ自力で行くことができない人への対応は。

なくそう！コロナ差別
(市のリーフレット)



令和3年度「コロナ禍」での「市の財政状況」

「第2次財政健全化アクションプログラム」が、中間年であるR元年度に見直され、R2年度からR6年度までの取組み内容と、合わせて「**財政計画**」も策定されましたが、市の財政状況は、H29年度から実質単年度収支が赤字となり、H30年度、R元年度も赤字が続き、**R2年度決算**においても、**実質単年度収支は大きく赤字**になると見込まれています。

【**市の預金**】財政調整基金について、H30年度末では約43.5億円でありましたが、R元年度末では約37.8億円となり、R2年度末残高は約29.4億円に減少して、R3年度末残高では約**20.9億円**に減少する見込みとなっています。

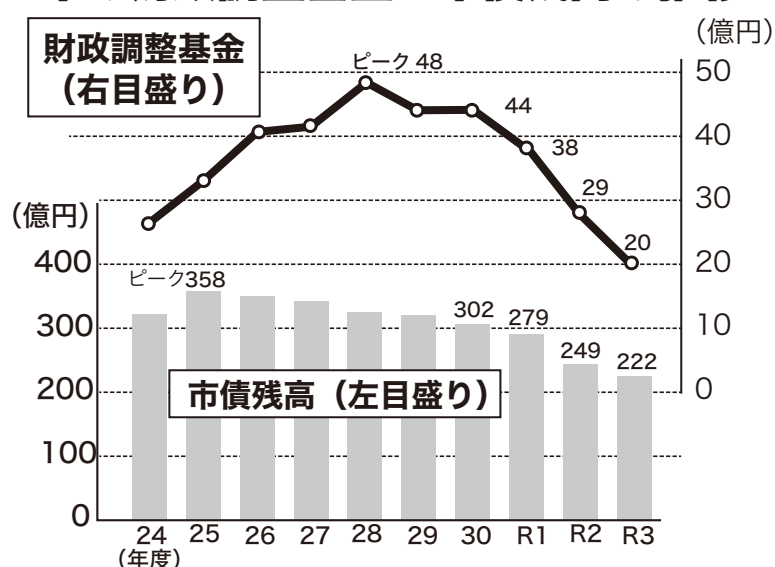
【**市の借金**】地方債について、H30年度末残高約302億円から、R元年度末残高約279億円、R2年度末残高約249億円に、R3年度末残高は約**221億円**になる見込みで、**(市の借金)**は

減少する傾向は継続しているものの、**(市の預金)**基金の残高も減少しているのです。借金を返済する**実質公債費比率**については、**4年連続で上昇**して悪化しています。

【**収支バランス**】義務的な歳出が増加傾向で、**経常収支比率**は、H29年度96.8%、H30年度99.4%から、R元年度は101.4%に悪化し、**財政硬直化**が毎年進んでいます。

【**コロナ禍での財政**】新型コロナウイルス感染症拡大は、市を取り巻く経済状況に大きな影響を及ぼしています。R2年度、R3年度と、**市税の減収が想定**される見込みであり、感染症対策の行政需要、社会保障費等の増高も懸念されるため、引き続き「**財政健全化アクションプログラム**」と「**財政計画**」に沿って、効率的な財政運営を行うことが求められています。

市の財政調整基金と市債残高の推移



市税と自主財源比率の推移

